

曾根干潟に“一大事”

風力発電計画が動きはじめました！

ズグロカモメなどの希少生物に影響を及ぼす計画であれば
反対し、計画の撤回を求めています。

環境にやさしいといわれる風力発電、
実は野鳥をはじめとする野生生物には
やさしくありません。

★野鳥の衝突死

風車が回ると、その向こうの景色が透けて見えます。
野鳥は回転直径 100m以上の巨大な風車の向こうの
景色に向かって飛んで行き、はねられてしまいます。
国内外の事例では多くのカモメ類やタカ類がその犠
牲になっています。

ズグロカモメやミサゴが危ない！

★旅する野鳥の貴重な休息場が無くなる恐れ

遠くオーストラリアとシベリアを往復するシギ・チド
リ類にとって、曾根干潟は貴重な休息場です。干潟の
底生生物などを食べ、エネルギーを補給して、また
遠い旅に出発します。しかし、巨大な風車が建った海
岸からシギ・チドリ類がいなくなる海外の事例があり
ます。

北九州市の生物多様性において
最も重要な曾根干潟の自然を守
りましょう！



©日本野鳥の会北九州支部

2018 年から風況観測調査が行われます。

吉田海岸突端に観測塔を建て、間島から音響を発生させて風速や風向を観測し、
風力発電に適した風が吹くかどうかの調査が約1年かけて行われる予定。



©日本野鳥の会北九州支部

野鳥やカブトガニたちが、これからも
安心して棲める曾根干潟でありますように



©日本野鳥の会北九州支部



海外での建設事例 © (公財) 日本野鳥の会